

# 環境対応型 合成ゴム系水性型 (両面塗布接着タイプ)

JAIA F☆☆☆☆

# TCE-33V

床暖房施工対応  
標準塗布量 1kgで約4~5㎡

主成分の合成ゴムを水で溶媒した水性型接着剤です。基本的には従来の速乾と同じ取り扱い方法ですが、「水を飛ばしてから貼る」と言う施工方法になりますので、貼り付けの待ち時間、タイミングなどが異なりますが、正しくご使用頂ければ、従来の速乾と変わりのない強度を得られますので、本書を充分お読み頂き、ご理解の上、ご使用ください。

## ☆ 施工前に準備するもの

扇風機・送風機(夏・冬問わず)、塗料用中毛スモールローラ(毛足12mm)、カッター、ハンドローラ、チョークライン、スケール、接着剤を移す容器など \*注)クシ目ゴテは使用しません。

## ■ 接着剤の使用方法

ご使用になる前に十分に攪拌してください。

### \* 標準塗布量

☆スモールローラ(毛足12mm)を使用して施工下地面、コルク裏面に接着剤を塗布してください。

下地面 (床面)

約100~130g/㎡

コンクリート、モルタル下地などの吸水性の高い床面や、コルクフェルト、コルホーンなどの多孔質面の場合は、多い目の塗布、もしくは2度塗りをしてください。

コルク裏面

(120~150g/㎡)

約100~120g/㎡

注)塗布量不足は接着不良の原因となります。

### ◎塗布後オープンタイムを取ります。

\* オープンタイムの目安(接着剤を塗布した後から乾燥し貼り合わせができるまでの待ち時間)

季節	気候条件	オープンタイム	
		強制乾燥有	強制乾燥無
春~夏	30℃×60%RH	60分	90分~120分
秋~冬	10℃×55%RH	// 90分	// 120分~180分
梅雨及び降雨	30℃×85%RH	// 120分	// 180分~240分

☆窓を開け、風通しを良くして扇風機などを使って乾かしてください。特に降雨時や湿度の高い場合、また気温が低い場合、洗濯物と同様、乾燥までに時間を要します。**必ず送風機をお使いください。**

☆オープンタイム前に貼り合わすと接着能力が出ず接着できません。

貼り合わせ可能時間はオープンタイムを取った後、8時間以内です。時間内に貼り終えてください。また、透明になりタックがない場合、床材の吸水性が高く吸い込まれ、接着剤が表面に残らない状態の可能性があります。その場合は再度接着剤を塗布し乾燥を待ってからタックの確認をし、貼り合わせてください。

## 冬場での注意

気温が5℃以下の場合、乾燥までに時間を要しますので施工する部屋の温度を高めてください。5℃以下になると接着不良が起こります。ご注意ください。

☆常温時と同様、送風機、ジェットヒーターなどを用いて施工してください。(ジェットヒーターの場合、直接、接着剤に風を当てないでください。)

気温5℃以下の施工の場合、室内が5℃以上でも施工する床面が5℃以下の可能性があります。特に寒冷地やコンクリート・モルタル下地の施工には床面の温度にも注意が必要です。事前にジェットヒーターなどで室温、床面を暖めてください。

### \* 保管場所

2~40℃の場所を定めて保管してください。一度、凍結させると

くなりますので、現場などでの保管には注意

してください。

## ■ 施行方法

### 1. 下地の確認

水分、汚れ、油分などないか確認し、付着している場合、丁寧に除去してください。  
チリ、ホコリなどを丁寧に清掃してください。

#### コンクリート下地

コンクリートは 打設後3週間以上経過しているか、またコンクリート面を1m×1mのポリシートで覆い、周辺をテープで止めて、24時間以上放置後、シートの下の方が水分で黒く変色していないことを確認してください。次に 平滑度検査ではコテむらの無い様に平滑に仕上げ、突起やくぼみは入念に手入れをしクラックがないかどうかを調べてください。



#### コンパネ下地

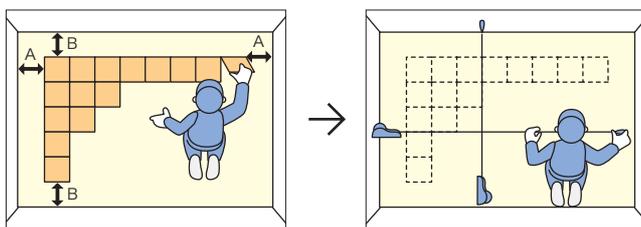
コンパネとコンパネの継ぎ目に段差がないか確認し、段差のある場合サンダ等で段差をなくし釘、ネジの頭を打ちこんでください。

☆注)硬化促進剤が入っている下地調整材は使用できません。

#### 既存床

クッションフロア、Pタイルなどは剥がしてください。剥がし終わった床面もきれいに整えてください。

### 2. 割り付け



部屋の隅に極端に小さなコルクが入らないよう  
割り付け基準線を引きます。

### 3. 接着剤の塗布

ご使用前によく攪拌してください。接着剤を容器に移しモールローラを使い、標準塗布量を目安に施工時間内に施工可能な量を塗布してください。**接着剤は下地の素地が見えなくなる程度に塗布してください。**

(クシ目ゴテは使用しないでください。)

コルク裏面側にもローラを用いてコルクの素地が見えない程度に接着剤を塗布します。

コルクタイルを裏返し1枚1枚塗布するのが理想です。

コルクタイルを裏返し広げて裏面に塗布される場合は目地の隙間をキッチリ突き合わせ動かないように端を固定してください。接着剤の粘度が低いため、目地の隙間から垂れて表面・コバに付着してしまうことがあります。接着剤が付いてしまった場合、水で濡らしたタオル、ウエス等で早い目に拭き取ってください。

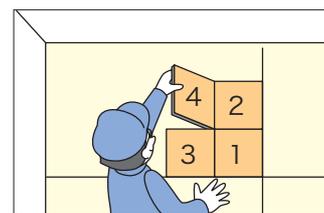
(そのまま固まると貼り合わせの際、目地隙の原因になりますのでご注意ください。)

### 4. オープンタイム

接着剤を塗布後、本紙一覧表を目安にオープンタイムを取ります。

(送風機、ジェットヒーターなどをご用意ください。)

乾燥後コルクを積み重ねず、必ず立てておいてください。



### 5. 貼り付け

オープンタイムを規定通りに取った後、直ちに基準線に沿って貼りつけていきます。貼り合わせ可能時間は**8時間**です。時間内にコルクタイルを貼り終えてください。

### 6. 圧着

貼りつけ後、コルクタイルを1枚1枚、特に目地部を良く丁寧にハンドローラで圧着してください。圧着を丁寧に行わないと後から浮きや剥がれが発生し、補修できなくなります。また部屋の隅は特に丁寧をお願いします。最後に部屋全体にローラがけを行ってください。

注)床暖房施工の場合、接着剤の完全硬化は10日~2週間掛かります。その間は(施工中も)絶対に床暖房の電源をいれないでください。目地隙や剥がれの原因となります。



以上のように速乾と違いオープンタイムに掛かる時間が異なります。施工の進め方、施工に係わる時間、道具など従来とは違う考え方で進めて行かなくてはなりません。施工後、住まわれる方、また施工される方の健康を配慮した接着剤です。ご理解の上、ご使用くださいます様、宜しくお願い致します。